

## 肥満症専門医研修計画書

文責 糖尿病センターセンター長 杉本一博

### I. 研修計画の目的と特徴

肥満症を理解し、肥満症の診断、治療ならびに指導のための能力を習得する。コメディカルとの連携を密にし、チーム医療のリーダーとしての資質を養う。

### II. 取得できる専門医

日本肥満学会認定肥満症専門医

### III. 専門医資格申請の要件

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての見識、人格を備えていること。
- 2) 申請時において、継続 3 年以上または通算 5 年以上本学会会員であること。（休会期間は会員歴には含まれない）
- 3) 申請時において、基幹学会（日本内科学会、日本外科学会、日本産婦人科学会、日本小児科学会、日本整形外科学会）の認定医または専門医として認められている者。
- 4) 基幹学会の認定医または専門医を取得後、申請時まで 3 年以上日本肥満学会認定肥満症専門 病院にて肥満症の診療に従事している者。
- 5) 肥満症の臨床に関する筆頭者としての学会発表 2 編、あるいは論文発表が 1 編以上あること。なお、学会・雑誌に関しては細則で定める。
- 6) 一定以上の肥満症の入院または外来症例の診療経験を有する者。

### IV. 研修計画内容

#### 1. 肥満の判定と肥満症の診断基準

- 1) 肥満の判定・・・・・・・・・・A
- 2) 肥満症の診断
- 3) 肥満・肥満症の評価法・・・・・・・・・・A
- 4) 肥満に関連する病態
- 5) 高齢者肥満の判定と高齢者肥満の診断基準・・・・・・・・・・B(内科 A)
- 6) 小児肥満の判定と小児肥満症の診断基準・・・・・・・・・・B(小児科 A)

#### 2. 肥満・肥満症の要因と疫学

- 1) 肥満・肥満症の成因(心理社会面を含む)・・・・・・・・・・A
- 2) 肥満の健康障害への影響・・・・・・・・・・A
- 3) わが国における肥満、肥満症の推移・・・・・・・・・・B
- 4) わが国における肥満、肥満症の現状・・・・・・・・・・B
- 5) 高齢者肥満の要因と高齢者肥満症の疫学・・・・・・・・・・B

6) 小児肥満の要因と小児肥満症の疫学 . . . . . C(小児科 A)

### 3.治療と管理・指導

- 1) 治療法総論
- 2) 肥満症
- 3) 高度肥満症
- 4) 高齢者肥満症
- 5) 小児肥満症

### 4.メタボリックシンドローム

- 1) メタボリックシンドロームの概念と診断基準 . . . . . A
- 2) メタボリックシンドロームの予防・指導・治療 . . . . . A
- 3) 小児期メタボリックシンドローム . . . . . B(小児科 A)

### 5.肥満症に合併する疾患の治療

- 1) 耐糖能障害 (2型糖尿病・耐糖能異常など) . . . . . A
- 2) 脂質異常症 . . . . . A
- 3) 高血圧 . . . . . A
- 4) 高尿酸血症 . . . . . A
- 5) 冠動脈疾患：心筋梗塞・狭心症 . . . . . A
- 6) 脳梗塞：脳血栓症・一過性脳虚血発作 . . . . . A
- 7) 非アルコール性脂肪性肝疾患 . . . . . A
- 8) 女性の肥満
- 9) 睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群 . . . . . A
- 10) 運動器疾患 . . . . . B
- 11) 肥満関連腎臓病 . . . . . A
- 12) 悪性疾患 (がん) . . . . . B
- 13) 良性疾患 (胆石症, 静脈血栓症・肺塞栓症, 気管支喘息, 皮膚疾患, 男性不妊, 胃食道逆流症) . . . . . B
- 14) 精神疾患 . . . . . B
- 15) 小児期に合併する疾患 . . . . . C(小児科 A)

### 6.肥満, 肥満症の予防医学

- 1) わが国の肥満症対策 (総論) . . . . . A
- 2) 特定健康診査・特定保健指導 . . . . . A
- 3) 地域における肥満対策 . . . . . B

- 4) 職域における肥満対策・・・・・・・・・・・・・・B
- 5) 小児期の肥満対策・・・・・・・・・・・・・・B(小児科A)
- 6) 小児から成人への肥満症診療の移行・・・・・・・・・・・・・・B(小児科A)

#### V. 研究に参考となる資料

- 内科領域：
  - ・ 肥満症診療ガイドライン 2016 (日本肥満学会)
- 小児科領域：
  - ・ 小児肥満症診療ガイドライン 2017 (日本肥満学会)
- 外科領域：
  - ・ 肥満症診療ガイドライン 2016 (日本肥満学会)
  - ・ 日本における高度肥満症に対する安全で卓越した外科治療のためのガイドライン (2013年、日本肥満症治療学会)
  - ・ メタボリックサージェリーの動向 ―わが国での健全な定着に向けて― (2016年、日本肥満症治療学会)
- 精神科領域：
  - ・ 肥満症治療に必須な心理的背景の把握と対応 ～内科的・外科的治療の効果を上げるために～ (2016年、日本肥満症治療学会)
- 産婦人科領域：
  - ・ 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2017 (日本産科婦人科学会)
  - ・ 産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2017 (日本産科婦人科学会)

#### VI. 認定教育施設 (I)

太田西ノ内病院糖尿病センター研修指導医リスト

- 杉本一博 (日本肥満学会員)
- 太田節 (日本肥満学会専門医)
- 鈴木進 (日本肥満学会専門医・指導医)

#### VII. メッセージ

当センターは、2008年より岩手医科大学および東北大学医学部附属病院と並んで肥満症の専門外来を開設しました。東北では数少ない肥満症専門施設として、外来で週に10-20名、入院で数人の肥満症例の管理・治療を行っています。

肥満症専門医を目指す皆さんが、当センターで活躍されることを期待しています。